

内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会
平成28年度第2回（第29回）合同会議議事概要

開催日及び場所	平成28年10月14日（金） 中央合同庁舎第8号館8階特別中会議室
委員	委員長 國廣 正 （弁護士） 委員 今井 猛嘉 （法政大学大学院法務研究科教授） 委員 大森 明 （横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授） 委員 寺田 麻佑 （国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科准教授） 委員 長岡 美奈 （公認会計士）
議事	○平成28年度 第1四半期の契約に係る審議 ○その他

○平成28年度 第1四半期の契約に係る審議

審議対象期間	平成28年4月1日～平成28年6月30日	
【一般競争入札】 総合評価落札方式	<p>○対象期間における契約の全体（内閣官房133件・内閣法制局6件・内閣府536件）について事務局から説明</p> <p>○審議案件抽出の考え方について当番委員から説明 抽出にあたっての関心事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低落札案件について、その理由を確認する。 ・実態として競争が困難だと思われる1者応札契約案件においては、随意契約へ切り替えのうえ、値引き交渉等により契約額を下げることができないか。 ・複数者による競争が可能と思われる調査業務において、1者応札となった理由を確認するとともに、適切なスケジュールにより入札が実施されたかを確認する。 <p>さらに以下の観点から各案件を絞込み</p>	
審議抽出案件	3件	
【一般競争入札】 最低価格落札方式	<p>（官房）1件 （関心事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低落札案件となった理由、予定価格の設定に問題がないか確認したい。 	<p>契約件名：通信回線の借入 契約相手：KDDI（株） 契約金額：25,493,832円 契約日：平成28年4月1日 担当部局：内閣官房内閣衛星情報センター</p>

<p>【一般競争入札】 最低価格落札方式</p>	<p>(府) 1件 (関心事項) ・アプリ開発元以外の業者が競争への参加が困難となっていないか確認したい。実態としてそうなっているのであれば、随意契約へ切り替えのうえ、値引き交渉等により契約額を下げることができないか。</p>	<p>契約件名：政府海外広報アプリの保守・運用業務 契約相手：(株)電通 契約金額：21,060,000円 契約日：平成28年4月1日 担当部局：内閣府大臣官房政府広報室</p>
<p>【一般競争入札】 総合評価落札方式</p>	<p>(府) 1件 (関心事項) ・複数者による競争が可能と思われるが、1者応札となった理由、また公告・入札に係るスケジュールは適切であったのか確認したい。</p>	<p>契約件名：平成28年度環境未来都市構想の推進に係る調査研究等業務 契約相手：(株)富士通総研 契約金額：57,348,000円 契約日：平成28年5月25日 担当部局：内閣府地方創生推進事務局</p>
<p>委員からの意見・質問 それに対する回答等</p>	<p>別紙のとおり</p>	
<p>委員会による意見の 具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

別紙

意見・質問	回答
1 通信回線の借入	
<p>・予定価格と入札価格は何故こんなに違うのか。</p>	<p>・市場価格調査による参考見積である予定価格は、値引きなしの定価である。一方、入札の価格をどれだけ値引くかは、その際に企業が決めることになる。</p>
<p>・1社で予定価格を決めるのではなく、2、3社の平均値や中央値を予定価格としてはいいのではないか。</p>	<p>・入札の意思のない会社から参考見積をお願いすることは、なかなか難しいのが現実である。</p>
<p>・価格の問題とセキュリティの問題とで一般競争入札が良いのか、随意契約が良いのか選択しとして考えてもよいのではないか。</p>	<p>・頂戴した意見など内部で検討し、よりよい契約になるよう努力したい。</p>
2 政府海外広報アプリの保守・運用業務	
<p>・開発業者以外の会社が保守・運用させる場合に一般的にコスト高になるのか。</p>	<p>・他のアプリ開発業者にヒアリングしたところ、自社の想定していないトラブルが起きた場合に、そのところのリスクを含まなければいけないとのコメントは聞いている。</p>
<p>・この案件に関しては一般競争入札にするやり方と随意契約にして価格を下げるやり方があるが、どう思うか。</p>	<p>・一般競争入札では事前審査の段階で不合格になった業者もあり、結果的に1社応札となった。一方、随意契約にして価格交渉を行うにも参考とするものがなく、不透明なところが検討点である。</p>
<p>・参考見積を3社から3年間取っているようだが、他の2社は応札していないのはなぜか。</p>	<p>・新しいシステムの保守・運用を行うこととなると、若干ためらう部分があり、会社の体制としても難しいという判断で見送ったようである。</p>
3 平成28年度環境未来都市構想の推進に係る調査研究等業務	
<p>・この案件は継続的に行っているものなので前年度末に公告をさせるような工夫はあるかもしれないが、どうか。</p>	<p>・調査の内容にもよるが部局と調整できるところは相談し、前倒しができるようであれば行ってみたいと思う。</p>
<p>・これまで同一の会社がこの調査を行っており、これまでの経験、蓄積があれば、公告が出ればそのままこの会社があるまま受け取れる。もう少し参入をうまく活発にできるような何か工夫ができないか。</p>	<p>・例えば評価の点数の加点の仕方とか、公告期間をもう少し長く設定するとか工夫してみてもいいかもしれない。</p>
○その他	
<p>・委員よりホームページ関連の契約案件全般に低入札となる傾向が続いており、予定価格の設定の在り方に改善の余地があるのではないかと問題提起を受け、事務局の対応について説明後、議論。 ・当日に追加された資料について担当より説明後、議論。</p>	